

これからのインフラを考える



「地域問題と水インフラを掛け合わせた地域密着型インフラ」をコンセプトとし地域問題である牡蠣殻（廃棄物）を活用して下水処理だけでなく魚の養殖を行うシステムを提案しています。下水処理は、牡蠣殻などを用いた散水ろ床による簡易処理と藻類による栄養塩除去（高度処理）により処理に必要な電力を大幅に削減し、下水処理だけでなく藻類槽を活用した魚の養殖と処理水を用いた作物を生産するシステムを提案を考案しています。